

平成28年 死亡災害一覧表

香 川 労 働 局
確 定

1 死亡災害

番号	死亡者数累計	業種	発生月	発生時間帯	事故の型 年 齢	発生状況
1	1	港湾荷役業	1月	8時台	墜落、転落 60歳代	被災者は、船で運ばれた鋼製コイルを陸揚げする作業において、船庫での玉掛け作業者であった。船庫で準備作業を行うべく船に乗り込んだ数分後、船庫で作業をしていた船員が大きな音を聞き後方を振り返ったところ、船庫底で仰向けに倒れている被災者を発見したものの。
2	2	卸売業	3月	14時台	交通事故 20歳代	被災者は、同僚と自動車を運転して、客先まわりをしている途中、緩やかなカーブでセンターラインを越えたため、対向して走行していたトラックと衝突して運転していた被災者が死亡したものの。なお、同僚とトラックの運転手も負傷している。
3	3	製造業	7月	10時台	はさまれ・巻き込まれ 70歳代	被災者は、工場内にある残コンクリートを篩い分ける装置の回転ドラムのメッシュ部分が目詰まりしたため、回転ドラムの上に乗ってメッシュ部のはつり作業をしていた。 ミキサー車の運転手が、回転ドラムが回転するスイッチと連動する放水シャワーのスイッチを入れたため、ドラムが回転して被災者がドラム横の防護柵との約20cmの隙間に胸部をはさまれ、死亡したものの。
4	4	建設業	9月	8時台	交通事故 40歳代	被災者は、同僚と会社から解体現場に向かうため、トラックを運転して高速道路の上り線を走行していた。 トンネル内でトラックが、左側の縁石に接触し、その反動で対向車線にはみ出し、側壁に接触後、スピンして反対方向を向いた状態で、対向車線を走行して来た大型トラックが衝突したものの。 トラックの運転士が死亡、同乗していた同僚、大型トラックの運転士が負傷したものの。
5	5	製造業	9月	15時台	はさまれ・巻き込まれ 20歳代	被災者は、工場内にある破砕機の清掃を行うため、破砕機投入口のコンベアの開口部から機械内に入ったが、稼働していた破砕機の羽根に巻き込まれて死亡したものの。
6	6	建設業	10月	8時台	墜落、転落 60歳代	被災者は、公民館解体工事現場で、地下埋設燃料タンクを撤去するため、解体用重機を運転して約5m下に移動していた。 運転していた解体用重機が移動中の法面を滑り落ちる状態で、約5m下の地面に激突し、解体用重機が横転した。 被災者は、病院搬送後、死亡したものの。

2 死亡災害の分析

	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
28年	死亡者数	1	0	1	0	0	0	1	0	2	1	0	0
	累計	1	1	2	2	2	2	3	3	5	6	6	6
27年	死亡者数	1	3	0	0	1	0	2	2	0	1	0	0
	累計	1	4	4	4	5	5	7	9	9	10	10	10

事故の型別	業種別	年齢別	起因物別
墜落、転落	製造業	～19歳	解体用機械
はさまれ・巻き込まれ	建設業	20～29歳	破砕機
交通事故	港湾荷役業	30～39歳	その他の一般動力機械
合計	卸売業	40～49歳	乗用車
	合計	50～59歳	トラック
		60歳以上	階段、棧橋
		合計	合計